

<p>【教材・教具名】 時計</p>	<p>【教科・領域】 算数</p>
<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙 ・ラミネートフィルム ・マジックテープ 	
<p>【ねらい】</p> <p>時計を正確に読めるようになる。 デジタルとアナログを対応できるようにする。</p>	
<p>○使用方法</p> <p>個別課題として利用</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>○工夫した所</p> <p>児童の実態に応じて、長針短針の色分けをしなかったり、24時間表記で課題に取り組みたりできるようにした。 導入に大きな時計を使用することで、児童がつまずいたときに時計を見合わせて指導ができるようにした。</p>	
<p>○効果</p> <p>教室の時計に興味を持つ児童が増えた。自分で時計を作ることで、デジタルの時計のみ読むことができていた児童が、アナログの針の位置を時計の線を見ながら数えて、読むことができるようになった。</p>	
<p>○参考文献</p> <p>ちびむすドリル幼児の素材館 (http://happyilac.net/tokei.html)</p>	